

第 36 回日本糖尿病性腎症研究会 プログラム

日 時：令和 7 年 12 月 6 日（土）・7 日（日）

開催形式：現地開催

会 場：和歌山城ホール（和歌山県和歌山市七番丁 25 番地の 1）

会 費：7,000 円（医師・研究者・企業）

2,000 円（医師以外の医療従事者：看護師・薬剤師・管理栄養士など）



- ◆ JR JR 和歌山駅からタクシー約 10 分、バス約 15 分
- ◆ 南海電鉄 南海和歌山市駅からタクシー約 5 分、バス約 10 分
- ◆ 飛行機 関西国際空港からリムジンバスで JR 和歌山駅まで約 40 分
JR 和歌山駅より上記路線バスに乗換後、約 15 分

世話人

日本大学
和歌山県立医科大学
島根大学
岡山大学
東京女子医科大学/石川記念会
久留米大学
岡山大学
金沢大学

阿 部 雅 紀
荒 木 信 一
金 崎 啓 造
四 方 賢 一
馬場園 哲 也
深 水 圭
和 田 淳
和 田 隆 志（代表世話人）

第 36 回当番世話人

和歌山県立医科大学

荒 木 信 一
山 本 修 人（事務局長）

後援 一般社団法人日本糖尿病学会、一般社団法人日本腎臓学会

認定単位について：

一般社団法人日本糖尿病学会 糖尿病専門医単位 3 単位

一般社団法人日本腎臓学会 腎臓専門医資格更新単位 1 単位

一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構〈第 2 群〉研修単位 2 単位

ご挨拶

第36回日本糖尿病性腎症研究会の当番世話人を拝命しています和歌山県立医科大学腎臓内科学講座の荒木信一です。本研究会は、糖尿病性腎症に関心を持つ医師とコメディカルの方々が、全国より一堂に会し、最新の治療法や基礎研究の成果を幅広く討議し、糖尿病性腎症の克服に向けた新たな一歩を進めていくための貴重な研究会として、36回の歴史を刻んできました。この伝統ある研究会を和歌山で開催させていただくこととなり、大変光栄に存じます。

近年、糖尿病性腎症重症化予防のための治療戦略として、発症早期からの包括的なリスク因子の集学治療と多職種によるチーム医療の重要性が広く認知されてきています。また、RAS 阻害薬、SGLT2 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬、MRA など大規模臨床試験で腎保護効果が示されている薬剤をうまく組み合わせることで、重症化予防のための有効な治療戦略を講じていくことが可能となってきました。このような時代背景のもと、糖尿病の治療成績は向上し、腎症の有病率も少しずつですが低下してきています。しかしながら、いまだ腎症が重症化し、腎代替療法を必要とする患者さんが多いことも事実です。そのため、糖尿病性腎症の実態や発症機序を明らかにし、対策を講じていくことが必要であり、多くの先生方の知見の集積が欠かすことはできません。今回の研究会でも、多くの素晴らしい臨床研究と基礎研究の演題をご発表いただきます。特別講演では、ハーバード大学・ジョスリン糖尿病センターの Krolewski 教授をお招きし、最新の糖尿病性腎症の研究成果についてご講演を頂きます。また、糖尿病性腎症の現況・治療戦略と最新の基礎研究の成果を、教育講演・シンポジウムとして各分野のエキスパートの先生方からお話いただきます。さらに、ワークショップでは、糖尿病性腎症重症化予防の取り組みや療養指導活動にお役に立てただけの診療のコツをエキスパートの先生方にご解説を頂きます。このような充実した内容の研究会を通して、皆様とともに、糖尿病性腎症の克服に向けた歩みを進めていくことができましたら幸いです。

今回の研究会は、和歌山市で開催させていただきます。会場は、和歌山城を目の前にした和歌山城ホールです。研究会とともに、是非とも和歌山を楽しんでいただければ幸いです。

第36回日本糖尿病性腎症研究会 当番世話人
和歌山県立医科大学 腎臓内科学講座 教授
荒木 信一



日 程 表

12月6日 (土)

参加受付：9：00～17：00

	第1会場 (2階 小ホール)	第2会場 (4階 大会議室)
9:00		9:00～9:50 幹事会 【4階 会議室1】
10:00	10:15～10:20 開会挨拶	
	10:20～10:50 教育講演1 チーム医療による糖尿病性腎臓病の治療の有効性—20年間の臨床からわかった事— 座長：片山茂裕 演者：海津嘉蔵	10:20～11:10 一般演題1「基礎1」 演題番号 O-01～O-04 座長：岩田恭宜
11:00	11:00～11:50 スポンサードセミナー 座長：海津嘉蔵 演者：栗原孝成 共催：協和キリン株式会社	11:15～11:55 一般演題2「臨床1」 演題番号 O-05～O-07 座長：花井 豪
12:00	12:10～13:00 ランチョンセミナー1 座長：羽田勝計 演者：合田朋仁 共催：小野薬品工業株式会社/アストラゼネカ株式会社	12:10～13:00 ランチョンセミナー2 座長：和田隆志 演者：金崎啓造 共催：バイエル薬品株式会社
13:00	13:15～13:25 研究会からの連絡	
	13:30～14:30 特別講演 Joslin Kidney Panel of circulating proteins: a tool for ESKD risk discrimination and individualized diabetic kidney disease treatment 座長：荒木信一 演者：Andrzej S. Krolewski	
14:00	14:40～16:40 シンポジウム1 糖尿病関連腎臓病の現況と今後の課題 座長：馬場園哲也 遠山直志 演者：横山宏樹 曾根博仁 大島 恵 深水 圭	14:40～15:30 一般演題3「臨床2」 演題番号 O-08～O-11 座長：清水美保
15:00		15:35～16:25 一般演題4「基礎2」 演題番号 O-12～O-15 座長：菅原 翔
16:00		
17:00	16:50～17:40 イブニングセミナー 座長：阿部雅紀 演者：森 克仁 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	
18:00	18:00～	
	意見交換会 【ダイワロイネットホテル和歌山 3F サンクシェール】	

12月7日（日）

参加受付：8：30～14：30

	第1会場（2階 小ホール）	第2会場（4階 大会議室）
9:00	9:00～11:00 シンポジウム2 糖尿病関連腎臓病の発症・進展機構の進歩 座長：斎藤亮彦 井口登與志 演者：三瀬広記 的場圭一郎 草場哲郎 久米真司	
10:00		9:30～10:10 一般演題5「臨床3」 演題番号 0-16～0-18 座長：丸山高史
11:00		10:20～11:00 一般演題6「臨床4」 演題番号 0-19～0-21 座長：赤井裕輝
	11:10～11:40 教育講演2 糖尿病性腎臓病の腎生検による診断と効果的な治療とは？ 座長：守屋達美 演者：乳原善文	11:10～11:40 ショートセミナー 座長：馬場園哲也 演者：段野貴一郎 共催：キッセイ薬品工業株式会社
12:00	12:00～12:50 ランチョンセミナー3 座長：鶴屋和彦 演者：山本脩人 共催：ゼリア新薬工業株式会社	12:00～12:50 ランチョンセミナー4 座長：和田 淳 演者：北本 匠 共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
13:00	13:00～15:00 ワークショップ 糖尿病性腎症重症化予防のための療養指導を考える 座長：四方賢一 細島康宏 演者：豊田雅夫 細井雅之 北田宗弘 大矢昌樹 阿部雅紀	13:00～13:50 一般演題7「基礎3」 演題番号 0-22～0-25 座長：前澤善朗
14:00		13:55～14:35 一般演題8「臨床5」 演題番号 0-26～0-28 座長：宇津 貴
15:00	15:00～15:05 閉会挨拶	
16:00		
17:00		
18:00		

会場までのアクセス

JR 和歌山駅より

- ・タクシーで約 10 分
- ・バスで約 15 分 「和歌山城前」バス停下車
和歌山駅 2 番のりば（中央口）より県庁・和歌浦口・新和歌浦・医大病院・マリーナ・海南駅前ゆき～和歌山城前で下車（大人 230 円）

南海和歌山市駅より

- ・タクシーで約 5 分
- ・バスで約 10 分 「和歌山城前」バス停下車
南海和歌山市駅 1 番バスのりばより JR 和歌山駅・医大病院・マリーナシティ・紀三井寺医大ゆき～和歌山城前で下車（大人 220 円）

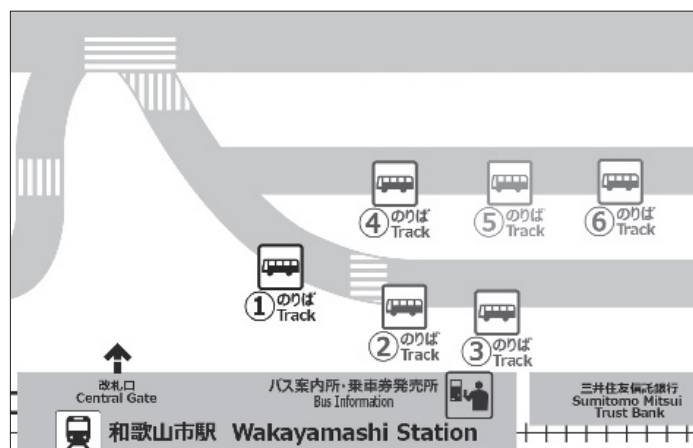
周辺地図



JR 和歌山駅周辺

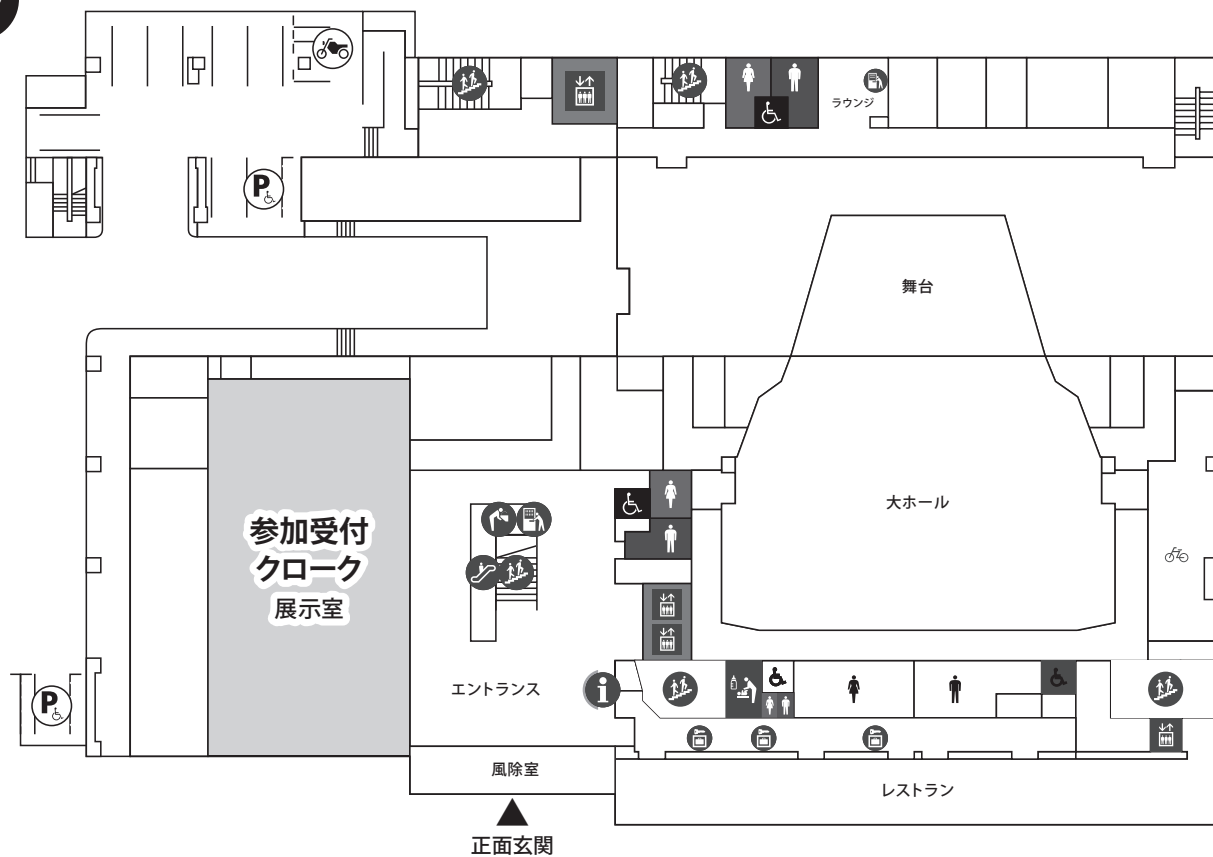


南海和歌山市駅周辺

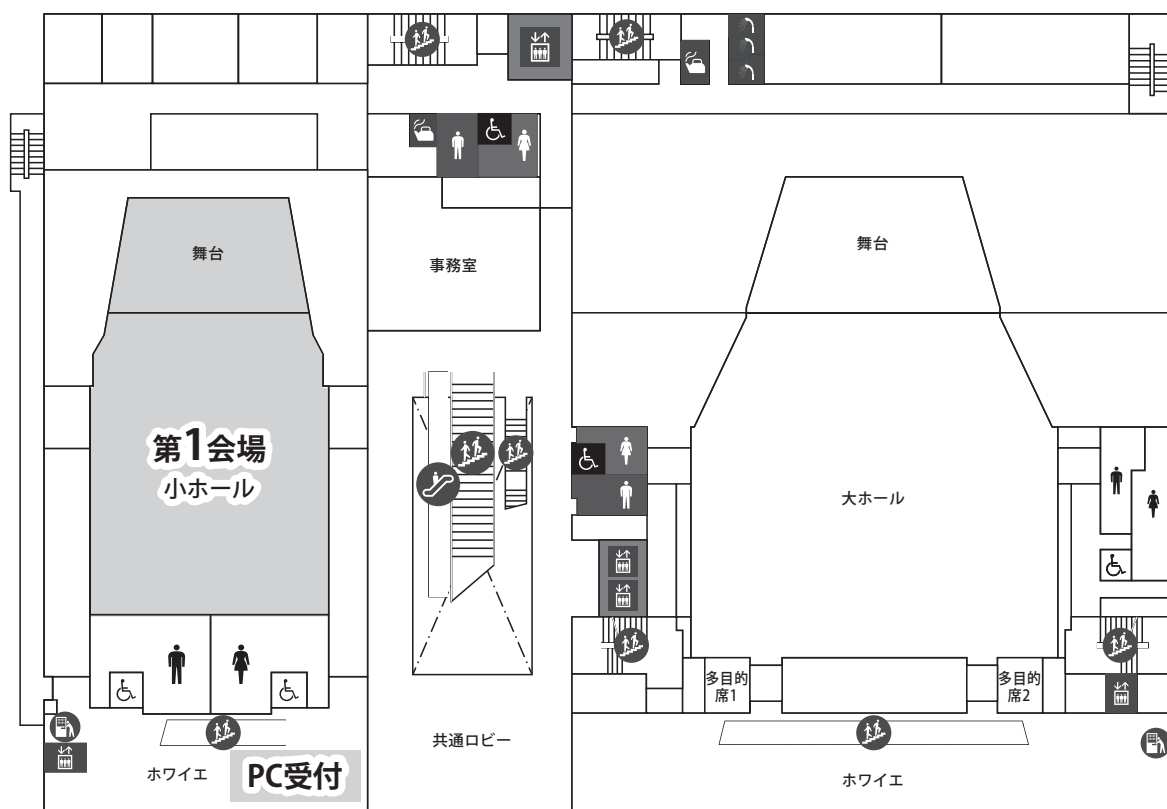


会場案内図

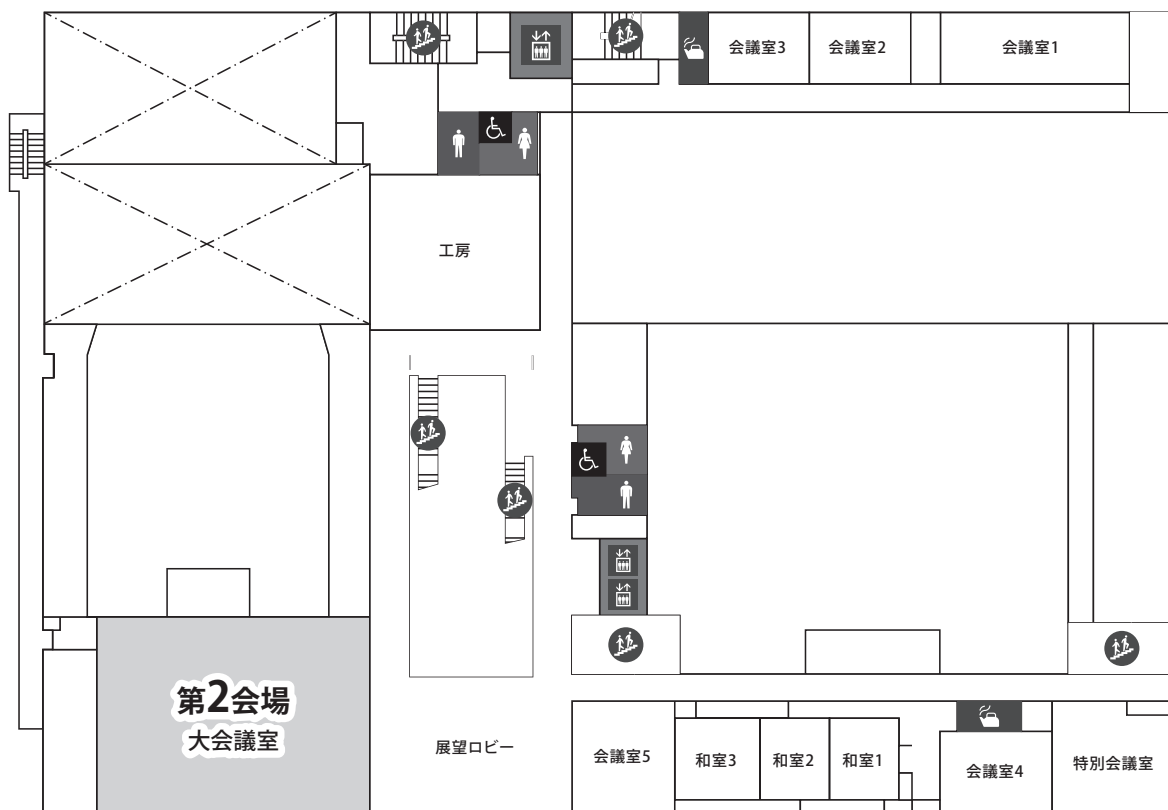
1階



2階



4階



参加者へのご案内

1. 開催形式・日時・参加登録

(1) 開催形式・開催日時

開催形式：現地開催 ＊ライブ配信・オンデマンド配信はありません

開催日時：12月6日（土）10：15～17：40

12月7日（日） 9：00～15：05

(2) 参加費^{*1}

医師・研究者・企業：7,000 円（不課税）

医師以外の医療従事者（看護師・薬剤師・管理栄養士など）：2,000 円（不課税）

学生・初期研修医^{*2}：無料

^{*1} 研究会への参加をもって入会となります。

^{*2} 本研究会では、学部学生（医学科・看護学科）、大学院生、医学系・看護系の専門学校学生及び、初期研修医は、参加費無料となります。その際、学生は「在学証明書」を、初期研修医は研修施設より発行された証明書を必ず提出願います。（メールまたはFAXにて、事前にご提出ください。当日参加登録の方は、ご持参のうえ受付にご提出ください。）
後期研修医は有料とさせていただきます。

(3) 参加登録

事前のウェブサイトからの参加登録にご協力をお願いいたします。登録の詳細については、ホームページをご覧ください。

現金でのお支払いをご希望の場合は、会期中の参加登録・受付にて承ります。

●ウェブサイトからの参加登録方法

Payvent のシステムから「参加登録」を行ってください。

●支払い方法

ウェブサイトからの参加登録システムでのお支払い方法は、クレジットカードのみ対応可能です。

※クレジットカードは、VISA、MasterCard、American Express、JCB、ダイナース、ディスカバーでのお支払いに対応しています。

銀行振込でのお支払いをご希望の場合は、運営事務局までお問合せください。

●登録完了・領収書・参加証明書・参加受付用 QR コード

参加登録・お支払い完了後、Payvent から届く自動返信メールに「領収書発行」「参加証明書」ボタンが表示されますので、ご自身でダウンロード・印刷をしてください。

なお、参加証明書は現地での参加受付後にダウンロード可能になります。

参加用 QR コードはお支払い完了後のメールに表示されます。印刷のうえご持参いただくか、お手持ちのスマートフォンなどに表示させて参加受付にお越しください。

●参加証（ネームカード）

参加証（ネームカード）は、現地参加受付でお渡しいたします。

※無記名の参加証（ネームカード）です。予めご了承ください。

●キャンセルポリシー

原則、参加登録費支払完了後のキャンセルはできません。二重登録等にご注意ください。

お預かりしました参加費は、やむを得ない事情により研究会が開催中止となる場合を除いて返金はいたしませんのでご了承ください。

(4) 会期中の参加登録・受付

会期中も、クレジットカード支払いによる参加登録（Payvent）、または現金による参加登録・受付をいたします。

●受付場所・時間

場所：和歌山城ホール 1階 展示室

時間：12月6日（土）9：00～17：00

12月7日（日）8：30～14：30

●ご来場にあたりまして

- ・事前にウェブサイトから参加登録をされた方は、決済完了メール（Payvent から自動送信）内に表示される参加受付用 QR コードを印刷のうえご持参いただくか、お手持ちのスマートフォンなどに表示させて参加受付にお越しください。
- ・ご来場には公共交通機関をご利用ください。
- ・当日、発熱・感冒症状などで体調が優れない場合は、来場をお控えください。

2. 発表データ受付

受付場所・時間

場所：和歌山城ホール 2階 小ホール ホワイエ

時間：12月6日（土）9：00～17：00

12月7日（日）8：30～14：30

3. プログラム・抄録集

参加登録をいただいた方には、当日参加受付で一部お渡しいたします。

4. 取得単位について

(1) 一般社団法人日本糖尿病学会 糖尿病専門医単位

本研究会に参加することにより、一般社団法人日本糖尿病学会糖尿病専門医更新のための単位3単位が取得できます。登録につきましては、後日、一般社団法人日本糖尿病学会にご自身で申請をお願いいたします。

(2) 一般社団法人日本腎臓学会 腎臓専門医更新単位

本研究会に参加することにより、一般社団法人日本腎臓学会腎臓専門医更新のための単位1

単位が取得できます。登録につきましては、後日、一般社団法人日本腎臓学会にご自身で申請をお願いいたします。

(3) 一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構 <第2群>研修単位

本研究会に参加することにより、日本糖尿病療養指導士認定更新研修単位<第2群>2単位が取得できます。当日単位受付にて参加者名簿に記入し参加証を受け取りください。参加者名簿の記入必須項目は「氏名」・「認定番号」・「職種」です。

5. 意見交換会

12月6日(土) 18:00～ ダイワロイネットホテル和歌山 3階 サンクシェールにて行います。参加証をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます(参加費無料)。

※クロークにお荷物を預けられている場合は、お荷物をお引取のうえ、ご参加ください。意見交換会会場内に荷物置き場をご用意しております。

6. 呼び出し

会場内での呼び出しは、原則として行いません。

7. クローク

貴重品はお預かりできませんのでご了承ください。

場所：和歌山城ホール 1階 展示室

時間：12月6日(土) 9:00～18:00

12月7日(日) 8:30～15:20

8. 座長の先生へのお願い

座長の方は、プログラムの円滑な進行にご配慮くださいますようお願い申し上げます。会場正面に向かって右側最前列に次座長席を設けておりますので、ご担当のセッション開始10分前までにご着席ください。

9. 演者の先生へのお知らせ

(1) 発表時間

指定演題(シンポジウム/ワークショップ/教育講演): 別途ご連絡しております。

一般演題: 口演8分、質疑応答4分です。

(2) 発表データについて

1) 本研究会はPC発表のみといたします。スクリーンは会場に合わせたサイズの1面のみです。

2) データの作成にあたってのお願い

・Windows利用の講演者はWindows PowerPointにて発表データを作成しUSBメモリに保存したものを「PCデータ受付」にお持ちください。Macにて発表をご希望の講演者はご自身のPC持参による発表のみとなります。PC持込の方で専用の外部出力ケーブルが必要な場合は、必ずご自身で持参してください。

なお、保存データはご自身のPC以外でも文字化け等がなく、データを読み込めるかどうかを事前に確認してください。

※バックアップ用としてお手持ちのノートパソコンをご持参いただくことを推奨いたします。

- ・文字フォントは PowerPoint に設定されている標準的なフォントのみご用意いたします。

（例）日本語の場合：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝 など

英語の場合：Times New Roman、Century、Century Gothic、Arial、Symbol など

- ・研究会当日に会場に設置される機材スペック

〔アプリケーション〕 Windows 版 Microsoft PowerPoint (Microsoft (Office) 365)

- ・推奨スライドサイズ：16：9

- ・アニメーション・動画の使用は可能です。バックアップ用として、ご自身の PC をご持参ください。

- ・PC の外部出力はミラーリング（複製）になります。拡張（発表者ツール）は使用できません。

- ・研究会当日は演者ご自身で演台上に設置されているキーパッド・マウスを操作していただきます。

- ・PC データ受付でのチェック終了後、会場内の次演者席へ 10 分前までにお越しください。

(3) 利益相反（COI）開示について

発表者は各自の所属学会の規定に則って利益相反状態の申告をお願いいたします。

所属されている学会に利益相反開示規定がない場合は、一般社団法人日本糖尿病学会もしくは一般社団法人日本腎臓学会の規定に従ってください。

10. 関連会議

- ・世話人会

別途ご案内します。

- ・幹事会

時間：12 月 6 日（土）9：00～9：50

場所：和歌山城ホール 4 階 会議室 1

詳細は別途ご案内します。

第 36 回日本糖尿病性腎症研究会プログラム

12 月 6 日（土）

【第 1 会場（2 階 小ホール）】

10：15～10：20 開会挨拶

10：20～10：50 教育講演 1

座長：片山茂裕（埼玉医科大学かわごえクリニック）

EL1. チーム医療による糖尿病性腎臓病の治療の有効性—20 年間の臨床からわかった事—

医療法人 海の弘毅会 新北九州腎臓クリニック

海津嘉蔵（かいづ かぞう）

11：00～11：50 スポンサーセミナー

共催：協和キリン株式会社

座長：海津嘉蔵（医療法人 海の弘毅会 新北九州腎臓クリニック）

「保険収載から約 6 年、当初想定されていた安全性と有効性の現在地を知る～HIF-PH 阻害薬と歩む明日からの腎性貧血診療へ向けて～」

熊本大学大学院 生命科学研究部 腎臓内科学講座

栗原孝成（くわばら たかしげ）

12：10～13：00 ランションセミナー 1

共催：小野薬品工業株式会社/アストラゼネカ株式会社

座長：羽田勝計（旭川医科大学）

「原疾患と尿アルブミンを考慮した慢性腎臓病の最適化戦略」

順天堂大学大学院医学研究科 腎臓内科学

合田朋仁（ごうだ ともひと）

13：15～13：25 研究会からの連絡

13：30～14：30 特別講演

座長：荒木信一（和歌山県立医科大学 腎臓内科学講座）

SP. Joslin Kidney Panel of circulating proteins: a tool for ESKD risk discrimination and individualized diabetic kidney disease treatment

Joslin Diabetes Center & Harvard Medical School, Boston, MA, USA

Andrzej S. Krolewski

14：40～16：40 シンポジウム 1

糖尿病関連腎臓病の現況と今後の課題

座長：馬場園哲也（東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野）

遠山直志（福井大学 医学部 腎臓病態内科学）

SY1-1. 糖尿病性腎症の時代変遷と今後の課題

自由が丘横山内科クリニック

横山宏樹（よこやま ひろき）

SY1-2. ビッグデータ解析からみた糖尿病性腎症の重症化予測

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学分野¹⁾

新潟大学ビッグデータアクティベーション研究センター²⁾

曽根博仁（そね ひろひと）^{1,2)}

SY1-3. 大規模臨床試験から見る SGLT2 阻害薬の有用性と課題

金沢大学 腎臓・リウマチ膠原病内科学

大島 恵（おおしま めぐみ）

SY1-4. 新規糖尿病性腎症治療薬 Up-to-Date

久留米大学 医学部 内科学講座腎臓内科部門

深水 圭（ふかみ けい）

16：50～17：40 イブニングセミナー

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

座長：阿部雅紀（日本大学）

「多臓器連関と SGLT2 阻害薬」

近畿大学奈良病院

森 克仁（もり かつひと）

【第2会場（4階 大会議室）】

9:00～9:50 幹事会【4階 会議室1】

10:20～11:10 一般演題1「基礎1」

座長：岩田恭宜（金沢大学 腎臓・リウマチ膠原病内科学）

O-01. 低酸素環境下における過剰な HIF 集積は mTOR 活性抑制とともに細胞増殖を抑制する

島根大学 医学部 医学科 5年¹⁾

島根大学 医学部 内科学講座内科学第一²⁾

島根大学 医学部 統合腎疾患制御研究・開発センター³⁾

○撰 綾乃（えらび あやの）¹⁾ 林 義大²⁾ 金崎啓造^{2,3)}

O-02. メガリン機能抑制を介した SGLT2 阻害剤による腎保護機序と尿中 A-メガリンの測定意義

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科学分野¹⁾

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 病態栄養学講座²⁾

東京大学大学院 工学系研究科³⁾

○斎藤亮彦（さいとう あきひこ）^{1,2,3)} 細島康宏²⁾ 竹本和矢¹⁾ 蒲澤秀門²⁾ 小餅耕一²⁾

青木弘行¹⁾ 杉田奈々子²⁾ 長門石曉³⁾ 津本浩平³⁾ 山本 卓¹⁾

O-03. 低レニン性高血圧を伴う糖尿病性腎症における降圧薬の新規併用療法の検証

藤田医科大学 研究推進本部 病態モデル先端医学研究センター¹⁾

シミックファーマサイエンス バイオリサーチセンター²⁾

シミックホールディングス L-FABP事業部³⁾

鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 臨床検査学科⁴⁾

藤田医科大学 医学部 生体構造学⁵⁾

○福井溪実（ふくい けいみ）¹⁾ 白水貴大¹⁾ 八代百合子²⁾ 白倉美雨²⁾ 大畑敬一³⁾

秋江靖樹²⁾ 山口太美雄⁴⁾ 高橋和男⁵⁾ 吉村 文¹⁾ 長尾静子¹⁾

O-04. Neuroblastoma suppressor of tumorigenicity 1 (NBL1) は心筋および腎線維化を促進する

日本大学 医学部 内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野

○小林洋輝（こばやし ひろき） 常見明子 村田悠輔 阿部雅紀

11:15~11:55 一般演題2「臨床1」

座長：花井 豪（東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野）

O-05. フィネレノンと DKD 関連薬剤の処方相関関係実態調査—NDB オープンデータからの分析—

社会医療法人 誠光会 淡海医療センター 薬剤部¹⁾

社会医療法人 誠光会 淡海ふれあい病院 薬剤科²⁾

神戸学院大学 薬学部³⁾

崇城大学 薬学部 医療薬剤学研究室⁴⁾

○三宅健文（みやけ たけふみ）^{1,2,3)} 橋本麻衣⁴⁾ 門脇大介⁴⁾

O-06. Efficacy and safety of finerenone in Asian patients with T2D and CKD: A FIDELITY analysis

Saitama Medical University, Kawagoe Clinic, Kawagoe Town, Japan¹⁾

Fukuoka University School of Medicine, Endocrinology and Diabetes, Fukuoka, Japan²⁾

Charité Universitätsmedizin, Cardiology & Metabolism, Berlin, Germany³⁾

Nanjing Drum Tower Hospital- The Affiliated Hospital of Nanjing University Medical School, China Department of Endocrinology, Nanjing, China⁴⁾

Hallym University Sacred Heart Hospital, Division of Nephrology, Ansan, South Korea⁵⁾

Taichung Veterans General Hospital, Division of Nephrology- Department of Internal Medicine, Taichung, Taiwan⁶⁾

Steno Diabetes Center Copenhagen, Complications Research, Copenhagen, Denmark⁷⁾

Institute of Research in Diabetes, Cardiac and Renal Translational Laboratory and Hypertension Unit, Madrid, Spain⁸⁾

Bayer AG, Cardiology and Nephrology Clinical Development, Berlin, Germany⁹⁾

University of Michigan School of Medicine, Department of Medicine, Ann Arbor- MI, USA¹⁰⁾

○Shigehiro Katayama¹⁾ Daiji Kawanami²⁾ Stefan D. Anker³⁾ Dalong Zhu⁴⁾

SungGyun Kim⁵⁾ Ming-Ju Wu⁶⁾ Peter Rossing⁷⁾ Luis Miguel Ruilope⁸⁾ Meike Brinker⁹⁾ Bertram Pitt¹⁰⁾

O-07. Risk-based implementation of simultaneous combination therapy with an SGLT2 inhibitor and a non-steroidal MRA: Insights from the CONFIDENCE trial

Osaka General Medical Center, Osaka, Japan¹⁾

Duke University School of Medicine, Durham, NC, USA²⁾

University of Groningen and University Medical Center Groningen, Groningen, The Netherlands³⁾

KfH Kidney Centre Munich and Friedrich Alexander University, Munich, Germany⁴⁾

Washington University in St. Louis, St. Louis, MO, USA⁵⁾

UNC School of Medicine, Chapel Hill, NC, USA⁶⁾

University of Tokyo Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan⁷⁾

Velocity Clinical Research at Medical City, Dallas, TX, USA⁸⁾

Steno Diabetes Center Copenhagen and University of Copenhagen, Copenhagen, Denmark⁹⁾

Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School, Boston, MA, USA¹⁰⁾

○Terumasa Hayashi¹⁾ Jennifer B. Green²⁾ Hiddo J. L. Heerspink³⁾ Johannes F.E. Mann⁴⁾

Janet B. McGill⁵⁾ Amy Mottl⁶⁾ Masaomi Nangaku⁷⁾ Julio Rosenstock⁸⁾ Peter Rossing⁹⁾ Muthiah Vaduganathan¹⁰⁾

12：10～13：00 ランチョンセミナー2

共催：バイエル薬品株式会社

座長：和田隆志（金沢大学/腎臓・リウマチ膠原病内科学）

「糖尿病関連腎臓病に対する診療 2025～finerenone の実績と今後への期待～」

島根大学医学部 内科学講座 内科学第一/統合腎疾患制御研究・開発センター

金崎啓造（かなさき けいぞう）

14：40～15：30 一般演題3「臨床2」

座長：清水美保（金沢大学・保健管理センター）

O-08. Association Between Circulating Microbial DNA and Renal Function in Patients With Diabetic Kidney Disease

Department of Nephrology and Rheumatology, Kanazawa University

○Thuy Linh Hoang Norihiko Sakai Miho Shimizu Shinji Kitajima Takashi Wada
Yasunori Iwata

O-09. 2型糖尿病患者の腎予後に対するレムナントコレステロールの影響

東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野

○森 友実（もり ともみ） 山本 唯 花井 豪 山重友里花 中神朋子

O-10. 2型糖尿病患者においてバルドキソロンメチルガメガリンを含む尿中近位尿細管マーカーに及ぼす影響

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 病態栄養学講座¹⁾

滋賀県立大学 生活栄養学科²⁾

協和キリン株式会社 開発本部³⁾

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科学⁴⁾

○細島康宏（ほそじま みちひろ）¹⁾ 桑原頌治²⁾ 蒲澤秀門¹⁾ 木下俊志³⁾ 市川知広³⁾
斎藤亮彦⁴⁾

O-11. 2型糖尿病症例のeGFR年間低下速度と尿中活性型IL-18濃度の関係

島根大学 医学部 内科学講座内科学第一

○野津雅和（のつ まさかず） 太田美和 檳野裕文 金崎啓造

15:35~16:25 一般演題4「基礎2」

座長：菅原 翔（滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科）

O-12. PKM2 活性化が糖尿病性腎症の進展を抑制する作用機序の解明

福岡大学 医学部 内分泌・糖尿病内科学¹⁾

福岡大学 医学部 再生・移植医学²⁾

福岡大学 医学部 病理学³⁾

福岡大学 医学部 腎臓・膠原病内科学⁴⁾

○横溝 久（よこみぞ ひさし）¹⁾ 牟田芳実¹⁾ 川波賢子¹⁾ 濱口百合子²⁾ 高士祐一¹⁾
上杉憲子³⁾ 升谷耕介⁴⁾ 小玉正太²⁾ 川浪大治¹⁾

O-13. ROCK 阻害薬は糸球体における脂肪酸代謝異常とミトコンドリア機能障害を改善する

東京慈恵会医科大学 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科¹⁾

医療法人財団慈生会 野村病院²⁾

○永井洋介（ながい ようすけ）¹⁾ 的場圭一郎¹⁾ 長尾 知¹⁾ 大橋慎史¹⁾ 光吉悦子¹⁾
関口賢介¹⁾ 横田太持¹⁾ 宇都宮一典^{1,2)} 西村理明¹⁾

O-14. 糖尿病性腎症による新規ポドサイト障害機構の解明—scRNA-seq と機能解析によるアプローチ

滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科

○吉岡美穂（よしおか みほ） 山原真子 菅原 翔 桑形尚吾 山原康佑 佐々木裕紀
金崎雅美 久米真司

O-15. 糖尿病関連腎臓病のポドサイト障害に対するフェロトーシス制御の可能性

千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科¹⁾

千葉大学²⁾

○井出真太郎（いで しんたろう）¹⁾ 井出佳奈¹⁾ 佐藤哲太¹⁾ 山口彩乃¹⁾ 寺本直弥¹⁾
横手幸太郎^{1,2)} 前澤善朗¹⁾

12月7日（日）

【第1会場（2階 小ホール）】

9：00～11：00 シンポジウム2

糖尿病関連腎臓病の発症・進展機構の進歩

座長：斎藤亮彦（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科）
井口登典志（福岡市医師会 福岡市健康づくりサポートセンター）

SY2-1. 糖鎖で紐解く糖尿病関連腎臓病の新規進展機序

岡山大学 学術研究院医療開発領域 腎臓・糖尿病・内分泌内科
三瀬広記（みせ こうき）

SY2-2. 細胞種単位での ROCK2 機能解析に基づく糖尿病性腎症の病態理解

東京慈恵会医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科
的場圭一郎（まとば けいいちろう）

**SY2-3. 修復不全尿細管（Failed repaired proximal tubular cells: FR-PTCs）に注目した進行糖尿病
関連腎臓病の病態解明**

京都府立医科大学 腎臓内科
草場哲郎（くさば てつろう）

SY2-4. SGLT2 阻害薬に学ぶ糖尿病関連腎臓病の病態

滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科
久米真司（くめ しんじ）

11：10～11：40 教育講演2

座長：守屋達美（独立行政法人国立病院機構相模原病院 糖尿病・内分泌代謝内科）

EL2. 糖尿病性腎臓病の腎生検による診断と効果的な治療とは？

虎の門病院分院 腎センター
乳原善文（うばら よしふみ）

12：00～12：50 ランチョンセミナー3

共催：ゼリア新薬工業株式会社

座長：鶴屋和彦（奈良県立医科大学 腎臓内科学）

「CKD 患者のカリウム管理～食の QOL を考える～」

和歌山県立医科大学 腎臓内科学講座

山本脩人（やまもと しゅうと）

13:00～15:00 ワークショップ

糖尿病性腎症重症化予防のための療養指導を考える

座長：四方賢一（岡山大学）

細島康宏（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター病態栄養学講座）

WS-1. 良好な血糖管理を実践していくためのコツ

東海大学 医学部 腎内分泌代謝内科

豊田雅夫（とよだ まさお）

WS-2. 糖尿病透析予防指導での腎臓リハビリテーションの役割

大阪市立総合医療センター 糖尿病・内分泌内科

○細井雅之（ほそい まさゆき） 薬師寺洋介 元山宏華

WS-3. 糖尿病性腎症に対する食事療法の課題～ガイドライン・プラクティスギャップを考える～

医療法人以心会 浜田メディカルクリニック

北田宗弘（きただ むねひろ）

WS-4. 服薬アドヒアランスの重要性と向上にむけた取り組み

近畿大学奈良病院 腎臓内科

大矢昌樹（おおや まさき）

WS-5. CKD チーム医療の効果を検証する

日本大学 医学部 内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野

阿部雅紀（あべ まさのり）

15:00～15:05 閉会挨拶

【第2会場（4階 大会議室）】

9:30～10:10 一般演題5「臨床3」

座長：丸山高史（日本大学 医学部 内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野）

O-16. 糖尿病におけるシスタチンCとクレアチニン由来のeGFR差および血清GDF-15と有害な転帰との関連性

順天堂大学 腎臓内科¹⁾

広島赤十字原爆病院 内分泌・代謝内科²⁾

○合田朋仁（ごうだ ともひと）¹⁾ 亀井 望²⁾ 越田剛生¹⁾ 萩原晋二¹⁾ 鈴木祐介¹⁾

村越真紀¹⁾

O-17. 2型糖尿病における経口 GLP-1 作動薬セマグルチドのアルブミン尿や baPWV に対する作用

東北公済病院 内科

○山岸俊夫（やまぎし としお）

O-18. 糖尿病患者における尿蛋白/アルブミンと BNP と腎予後の関連性

順天堂大学 腎臓内科¹⁾

広島赤十字・原爆病院 内分泌代謝内科²⁾

○村越真紀（むらこし まき）¹⁾ 亀井 望²⁾ 萩原晋二¹⁾ 鈴木祐介¹⁾ 合田朋仁¹⁾

10：20～11：00 一般演題6「臨床4」

座長：赤井裕輝（東北医科薬科大学若林病院 糖尿病代謝内分泌内科）

O-19. 地域医師会による糖尿病腎症重症化予防プログラムへの取り組み

おおはぎ内科¹⁾

伊藤クリニック²⁾

梅本診療所³⁾

植阪クリニック⁴⁾

曾和医院⁵⁾

田中診療所⁶⁾

前田医院⁷⁾

南クリニック胃腸肛門科⁸⁾

森下クリニック⁹⁾

市立大津市民病院¹⁰⁾

○大萩晋也（おおはぎ しんや）¹⁾ 江川公浩²⁾ 梅本博昭³⁾ 植阪和修⁴⁾ 曾和 正⁵⁾

田中耕治⁶⁾ 前田至規⁷⁾ 南 光昭⁸⁾ 森下昌亮⁹⁾ 中澤 純¹⁰⁾

O-20. 岡山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムのアウトカム評価（令和2・3年度受診勧奨集集団）

岡山大学病院 糖尿病センター¹⁾

岡山大学²⁾

川崎医科大学³⁾

岡山県⁴⁾

○和田嵩平（わだ たかひら）¹⁾ 四方賢一²⁾ 加来浩平³⁾ 岡山県糖尿病医療連携推進事業⁴⁾

O-21. 糖尿病性腎症重症化予防事業における個別栄養指導実施の2年後までの評価

新潟県立大学 人間生活学部健康栄養学科¹⁾

新潟県栄養士会²⁾

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 病態栄養学講座³⁾

新潟市福祉部保険年金課⁴⁾

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科学分野⁵⁾

JR東日本新潟健康推進センター⁶⁾

○村山稔子（むらやま としこ）^{1,2)} 細島康宏³⁾ 蒲澤秀門³⁾ 久志田順子²⁾ 阿邊雄大⁴⁾

山田恭子⁴⁾ 坂内理恵子⁴⁾ 斎藤亮彦⁵⁾ 鈴木芳樹⁶⁾ 山本 卓⁵⁾

11：10～11：40 ショートセミナー

共催：キッセイ薬品工業株式会社

座長：馬場園哲也（東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野）

「透析そう痒症の治療～皮膚科医の立場から～」

だんの皮膚科クリニック

段野貴一郎（だんの きいちろう）

12：00～12：50 ランチョンセミナー 4

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長：和田 淳（岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学）

「高用量セマグルチドが示す疾患としての肥満症～腎を含む Additional Benefit を見据えた治療戦略～」

千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科

北本 匠（きたもと たくみ）

13：00～13：50 一般演題 7 「基礎 3」

座長：前澤善朗（千葉大学大学院 医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学）

O-22. Diabetic tubulopathy における Vaspin/HSPA1L を介したミトコンドリア恒常性維持機構

岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科

○中司敦子（なかつか あつこ） 和田 淳

O-23. 腎局所ケトン体代謝による腎エネルギー恒常性維持機構の破綻はサルコペニアを惹起する

滋賀医科大学 医学部 糖尿病内分泌腎臓内科

○堀口淳矢（ほりぐち じゅんや） 菅原 翔 桑形尚吾 山原康佑 山原真子
佐々木裕紀 金崎雅美 久米真司

O-24. 尿細管脂質エネルギー代謝障害における ROCK アイソフォームの役割

東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科¹⁾

医療法人財団慈生会 野村病院²⁾

○長尾 知（ながお さとる）¹⁾ 的場圭一郎¹⁾ 大橋慎史¹⁾ 光吉悦子¹⁾ 永井洋介¹⁾
関口賢介¹⁾ 横田太持¹⁾ 宇都宮一典²⁾ 西村理明¹⁾

O-25. RNA スプライシング関連蛋白と糖尿病腎線維化メカニズムの関連性の検討

島根大学 医学部 医学科 4年¹⁾

島根大学 医学部 内科学講座内科学第一²⁾

滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科³⁾

国立国際医療研究センター 分子糖尿病医学研究部⁴⁾

島根大学 医学部 統合腎疾患制御研究・開発センター⁵⁾

○田中裕一郎（たなか ゆういちろう）¹⁾ 林 義大²⁾ 霍田裕明^{3,4)} 金崎啓造^{2,5)}

13：55～14：35 一般演題8「臨床5」

座長：宇津 貴（日本生命済生会日本生命病院 腎臓内科）

O-26. 糖尿病患者における心血管・腎・代謝イベントの危険因子—DKD の比較

和歌山労災病院 臨床検査科¹⁾

和歌山労災病院 内科²⁾

○大星隆司（おおほし たかし）^{1,2)} 味村彩美²⁾ 丸山杏奈²⁾ 中野雄斗²⁾ 田村志宜²⁾
中尾隆太郎²⁾ 若崎久生²⁾ 中 啓吾²⁾ 南條輝志男²⁾

O-27. 糖尿病患者の腎予後予測因子は網膜症の有無により異なる

東京女子医科大学病院 糖尿病代謝内科

○山重友里花（やましげ ゆりか） 花井 豪 森 友実 山本 唯 中神朋子

O-28. 糖尿病合併の血液透析患者においてチルゼパチド投与で、透析間体重増加の適正化を得られた1例

大阪公立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学¹⁾

大阪公立大学大学院 医学研究科 腎臓病態内科学²⁾

社会医療法人垣谷会 明治橋病院 腎臓・糖尿病内科³⁾

○小野克宏（おの かつひろ）¹⁾ 仲谷慎也²⁾ 濱崎智之³⁾ 矢野正博³⁾ 上殿英記¹⁾
越智章展¹⁾ 森岡与明¹⁾ 石村栄治³⁾ 垣谷隆介³⁾ 繪本正憲¹⁾